

東	野炎	立所見而	反見為者	月西渡	万葉集
東の	野に炎の	立つ見えて	かへり見すれば	月傾きぬ	
ひむがしの	のにかぎろひの	たつみえて	かへりみすれば	つきかたぶきぬ	
東の	野に朝の光が	さしてきた	ふりかえって見れば	月が西の空に移っている	

卷一 48
柿本人麿